

このたびは給気電動シャッターをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。  
お求めの給気電動シャッターの注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。

取付工事は、必ず専門の工事店にご依頼ください。

この給気電動シャッターは、気密性の高い建物で、汚れた空気を排出するときに必要な新鮮な外気を取り入れるためのもので、レンジフードファンなどの換気扇に連動させて使用します。

この取付説明書は工事完了後、お客さまにお渡しください。

## 安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。  
表示と意味は次のようになっています。

表示	表示の意味
 <b>警告</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または*1重傷を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が*2傷害を負うことが想定されるか、または*3物的損害の発生が想定されること”を示します。

\*1重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

\*2傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。

\*3物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

### 図記号の例

図記号	図記号の意味
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 電源を切る	ⓧは、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、ⓧの中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「電源を切る」を示します。

### 警告

絶対に改造はしない  
発火したり感電することがあります。



改造禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理をしない  
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



分解禁止

交流100V以外では使用しない  
火災や感電の原因になります。



使用禁止

お手入れの際、必ずスイッチを「切」にして行う  
感電やけがをすることがあります。



電源を切る

電気部品は、水につけたり水をかけたりしない  
発火したり感電することがあります。



水かけ禁止

ア - スを必ず取り付ける  
故障や漏電のときに感電することがあります。  
ア - スの取り付けは販売店や電気工事店にご相談ください。



ア - スを接続する

### 注意

電気工事は必ず電気工事店に依頼する  
電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う  
誤った電気工事は火災や感電の原因になります。



取付注意

本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に  
行う  
落下により、けがをすることがあります。



取付注意

室内側換気口の取り付けは確実に  
行う  
落下により、けがをすることがあります。



取付注意

直接炎のあたる恐れのある場所には取り付けない  
火災の原因になります。



取付禁止

メタルラス張りなどの金属造営材と接触させない  
漏電したとき、火災の原因になります。



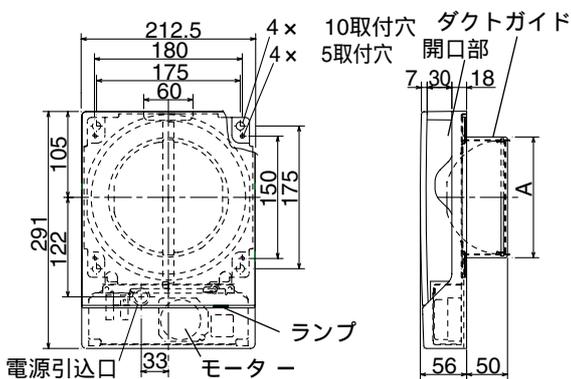
接触禁止

取り付け、お手入れの際は必ず手袋を着用する  
板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。



手袋をする

# 外形図・仕様



(単位: mm)

## 付属部品

表示シール.....1枚

台所換気扇運動  
給気口

## 仕様

電圧・周波数	消費電力 (W)	
	50Hz	60Hz
100V 50/60Hz 共用	4.1	3.7

## お願い

下記環境下で使用しますと本体から結露水が滴下することがあります。  
 屋外側温度 - 5 以下で室内温度20 ・ 室内湿度50%RH以上  
 風雨の強いときなどは雨が室内に浸入する恐れがあるため、連動ファンを停止し、シャッターを閉じてください。  
 モーター、ランプは使用状況により寿命が短くなる場合があります。  
 40 以上の高温となる場所で使用しないでください。  
 屋外環境(塩害地区、工業地域など)により錆が発生する場合があります。

## 取付方法

取付工事前に製品に変形など異常がないか確認してください。

この給気電動シャッターを防火ダンパーとして使用することはできません。  
 防火区画内に取り付ける場合は、給気用電動防火ダンパーを取り付けてください。

取付面の材質により取り付け前の準備が異なりますので、下記により取り付け準備を行ってください。  
 石こうボードや薄壁に木ねじで製品を直接固定しないでください。(製品が落下します。)  
 本体の取付位置は、天井と側面の壁から70mm以上離してください。

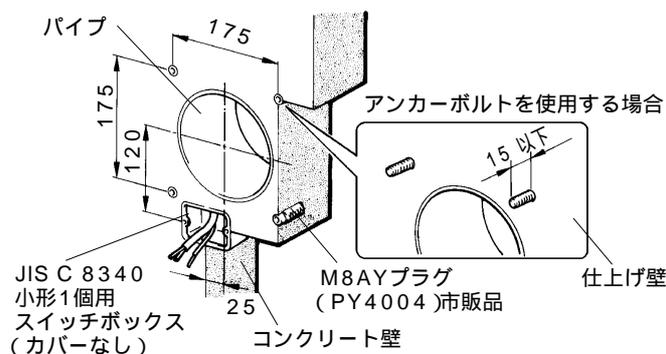
### 1. 取り付け前の準備

#### コンクリート壁に取り付ける場合

1. 壁にパイプ(スパイラル管など)用の穴をあけパイプを埋め込み、モルタルなどの不燃材料で固定します。
2. 4か所の取付位置に 14深さ47mmの穴をあけ、市販のM8AYプラグ(PY4004)を打ち込みます。
3. 屋内配線をJIS C 8340小形1個用スイッチボックス(カバーなし)を介して、端子台に接続できるように引き込みます。

#### お願い

パイプは室内側壁面から出ないように固定してください。  
 アンカーボルトを用いて施工する場合は、仕上げ壁面から15mm以上突出させないでください。  
 (室内側換気口が取り付けできなくなります。)



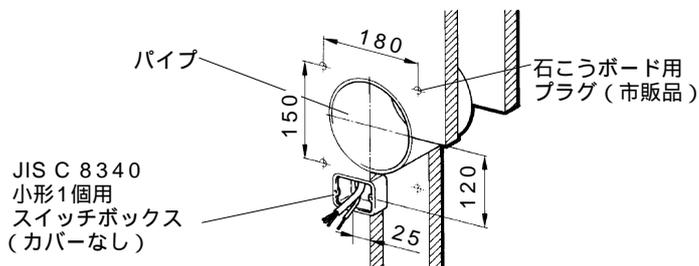
(単位: mm)

#### 石こうボード・板壁(薄板を含む)に取り付ける場合

1. コンクリート壁と同様取付位置にパイプを固定します。
2. 4か所の取付位置に石こうボード用プラグ(市販品)を取り付けます。
3. 屋内配線をJIS C 8340小形1個用スイッチボックス(カバーなし)を介して、端子台に接続できるように引き込みます。

#### お願い

パイプは室内側壁面から出ないように固定してください。  
 板壁に製品を直接取り付けの場合、取付面板厚が20mm以上になるよう補強板(お客さま手配)を取り付けてください。



(単位: mm)

# 取付方法 (つづき)

## 2. 本体の取り付け

本体と室内側換気口を仮止めしているテープをはがしてください。

1. 電源部カバーのねじ1本をゆるめて、下にずらしてはずします。
2. 屋内配線を電源引込用穴から引き込みます。
3. 本体を固定します。

### コンクリート壁に取り付ける場合

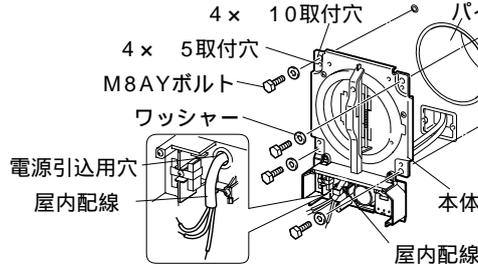
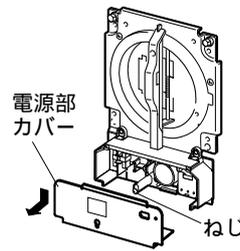
本体をパイプに差し込み、市販のM8AYボルト(PY4004)で10取付穴を用いて固定します。

#### お願い

製品をナットで固定する場合は、ダブルナットなどによりゆるみ止めを施してください。

### 石こうボード・板壁(薄板を含む)に取り付ける場合

本体をパイプに差し込み、市販の木ねじ(4.1×20以上)で5取付穴を用いてワッシャーを介して固定します。



取り付け用ねじはステンレス製を使用しないでください(電蝕をおこし、錆びるおそれがあります)

木ねじの場合は5取付穴を使用してワッシャーと共に取り付けてください

## 3. 電気工事

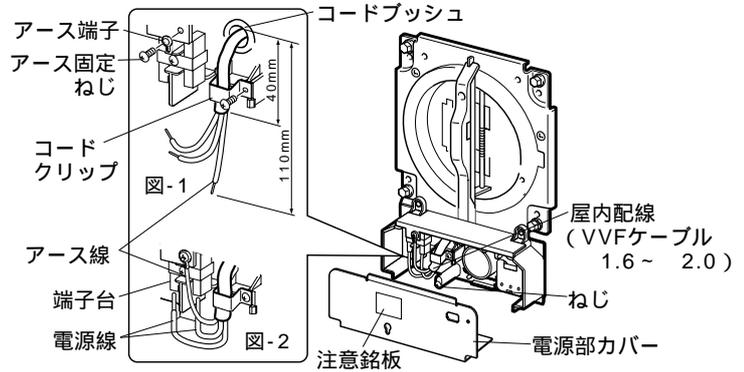
1. コードクリップのねじをはずします。
2. 屋内配線(VVFケーブル 1.6~2.0・皮ムキ長さ12mm)の長さはコードブッシュから先端までを110mmとし、外皮はコードブッシュから40mm残します。(図-1)
3. 屋内配線の外皮部分をコードクリップで固定します。(図-1)
4. 電源線を図のように曲げて端子台に根元まで確実に差し込みます。(図-2)

レンジフードファンやダクト用換気扇と連動させる場合は結線図を参照して結線をしてください。

5. 本体のアース端子をはずしてアース線にかしめ、アース固定ねじで元通り固定します。
6. 電源部カバーを元通りに取り付けます。

#### お願い

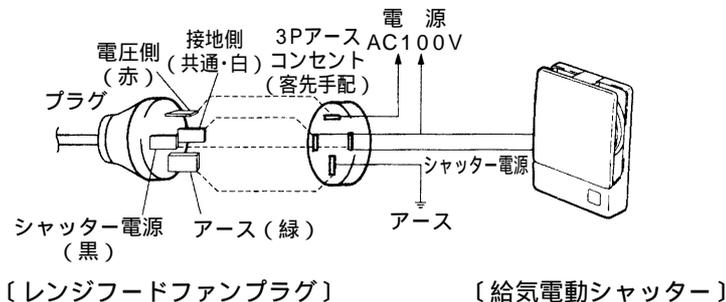
端子台から屋内配線をはずす場合、リリース方向は本体貼り付けの注意銘板を参考にしてください。



## 結線図

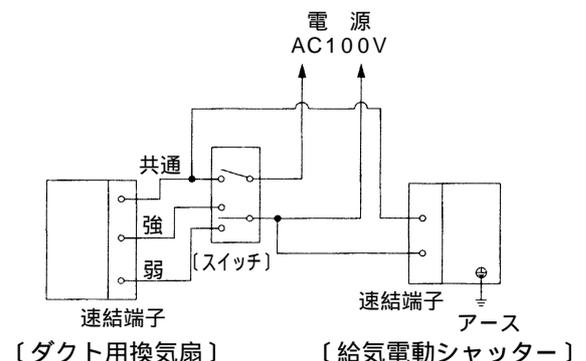
### レンジフードファンの場合 給気電動シャッター連動形の場合

レンジフードファンの回転と同時にシャッターが開きます。



### ダクト用換気扇の場合 強弱付の場合

ダクト用換気扇の回転と同時にシャッターが開きます。



# 取付方法 (つづき)

## 4.室内側換気口の取り付け

1. 室内側換気口前面部のへこみ部および開口部に手をかけ、手前に引いて開けます。。
2. 室内側換気口下側のツメ(2か所)を本体に引っ掛けます。
3. 室内側換気口上側を取付ねじ(2本)で本体を固定します。
4. 室内側換気口前面部を閉じます。

### メモ

TOSHIBAマークが正面を向かないときは裏面の突起部を押しはずします。  
製品取付方向に合わせて再度取り付けます。

### お願い

必要により付属の表示シールを表示が見やすいように製品に貼り付けてください。

## 5.試運転

換気扇本体のスイッチあるいは壁スイッチを「入」にし、シャッターが開いたことを確認してください。

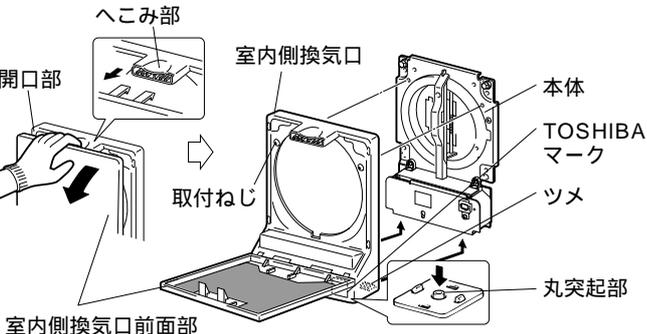
## お手入れのしかた あまり汚れないうちに(3か月毎)お手入れしてください。

室内側換気口が汚れてきましたら中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取ります。

1. 図のように室内側換気口前面部のへこみ部および開口部に手をかけ、手前に引いて開けます。  
(室内側換気口前面部ははずせません。)
2. 室内側換気口の汚れをふき取ります。
3. 元通り室内側換気口前面部を閉めます。

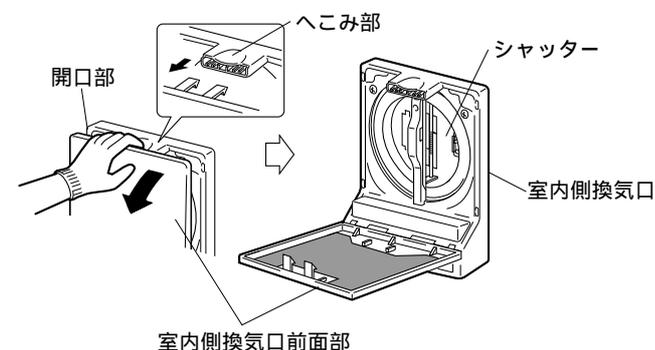
### お願い

お手入れに下記の溶剤・洗剤等を使用しないでください。  
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入り洗剤  
(変質・変色する原因になります。)  
室内側換気口は取りはずさないでください。  
お手入れの際シャッター部に触らないでください。  
(故障の原因になります。)



### お願い

室内側換気口前面部を開けたとき、室内側換気口前面部は引っ張らないでください。閉めるときスムーズに動かないことがあります。



### お願い

室内側換気口前面部を開けたとき、室内側換気口前面部は引っ張らないでください。閉めるときスムーズに動かないことがあります。

## 修理を依頼される前に

下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現象	点検
スイッチを入れてもシャッターが開かない	ブレーカーが切れていませんか。 停電ではありませんか。

上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のためすぐに電源を切って、お買い上げの販売店・工事に点検・修理をご依頼ください。(有料)

ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

# 東芝キヤリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

フリーダイヤル  
0120-015-613

ET9X420601  
874HC6302